

令和4年度教員研究活動報告書

飯野 由美子 教授（金融論）

競争的資金等の獲得状況

プロジェクト経費（単独）、学長裁量経費は、各森島先生（BigData・AI塾）、庄司先生（SDGs未来プロジェクト）のお手伝いとして参加。BigData・AI塾の設営を行った。

小山 幸伸 教授（日本経済史・歴史教育）

学術論文

令和4年6月「明治期における吉田家の下総開墾地経営」『研究論集』第101号，敬愛大学経済学会，pp.3-22.

学会での役職

中央史学会評議員
三田史学会委員

佐々木 英憲 教授（金融経済関係）

学術論文

令和4年6月「日経平均にみる株価形成の分析—実務家としての考察—」『研究論集』第101号，敬愛大学経済学会，pp.137-174.

令和4年9月 金融広報中央委員会主催の第19回「金融教育に関する実践報告コンクール」に、「大学における金融教育についての考察」を投稿，1次審査は通過したが，受賞とはならなかった。

高岡 英氣 教授（スポーツ哲学・スポーツビジネス論）

学術書の刊行

令和5年3月『プロスポーツの法的問題』新井喜代加, 武田丈太郎（編）『はじめて学ぶスポーツと法』みらい, 第12章.

その他著作

令和4年8月「医療系大学生における健康に関連する心と身体のフィットネス」日本体育・スポーツ・健康学会第72回大会研究報告予稿（共著者：水野哲也ほか）.

学会発表等の活動

令和4年8月「労働の場における共生の実現に向けて：労働における遊戯性の可能性」自主ワークショップ「障害者の雇用と「働く」ことの意味：共生社会への道」話題提供（共同報告者：清野絵ほか）日本職業リハビリテーション学会, オンライン開催.

令和4年9月「医療系大学生における健康に関連する心と身体のフィットネス」（共同報告者：水野哲也ほか）日本体育・スポーツ・健康学会, 順天堂大学.

令和4年9月 体育哲学専門領域研究発表（座長）日本体育・スポーツ・健康学会, 順天堂大学.

学会での役職

日本体育・スポーツ・健康学会 機関誌編集委員

競争的資金等の獲得状況

科学研究費補助金：基盤研究（A）「高齢・障害者の雇用政策・差別禁止法の効果研究：組織における人間行動の影響への着目」[17H01000]（研究代表者：高木朋代）2017年度～2022年度, 連携研究者

高木 朋代 教授（人的資源管理）

学術論文

令和4年12月 「70歳までの雇用・就業に向けて：企業の人事管理に求められる視点」『企業年金』2022年12月号, pp.16-19.

その他著作

令和5年3月 「働きから改革で失われる日本の優位性：人材の育成と活用には時間がかかる」『週刊エコノミスト』3月21日号, pp.48-49.

※創刊100周年企画：エコノミスト賞受賞者が考える日本経済の処方箋No.12

令和5年3月 「高齢者の就業選択における『すりかえ合意』行動：認知的不協和と利他性からの考察」『日本労働社会学会 通信』.

※学会研究例会の報告概要

学会発表等の活動

令和4年8月 日本職業リハビリテーション学会第49回（Web開催）

報告課題「障害者の雇用と『働く』ことの意味：共生社会への道」

※冒頭の研究・報告趣旨の説明 ※共同報告ワークショップ

令和5年3月 日本労働社会学会（於 専修大学神田キャンパス／Web開催）

報告課題「高齢者の就業選択における『すりかえ合意』行動：認知的不協和と利他性からの考察」※研究例会報告

競争的資金等の獲得状況

科学研究費補助金 基盤研究（A）平成29年度～令和3年度（令和4年度まで繰越し）研究代表

科学研究費補助金 挑戦的研究（萌芽）令和3年度～令和5年度 研究代表

本学 研究プロジェクト補助金（共同研究）令和4年度 研究代表

成松 恭平 教授（管理会計・原価計算）

学術論文

令和4年6月「戦略管理会計：『レベニューマネジメント』の経済学的基礎概念とその特徴」『研究論集』第101号，敬愛大学経済学会，pp.71-95.

根本 敏則 教授（交通経済学，ロジスティクス）

学術論文

令和4年6月「ダブル連結トラックを用いた自動車部品輸送における幹線輸送の効率化」早期公開版『運輸政策研究』Vol.25, pp.1-8, 共著：味水佑毅，根本敏則，倉橋敬三（査読付）.

令和4年7月「物流 MaaSの実現に向けたFMSサービス市場形成に関する現状と課題」『日本物流学会誌』No.30, pp.311-318, 共著：味水佑毅，渡部大輔，後藤孝夫，根本敏則，利部智.

令和4年9月“Demand analysis of large-truck parking at expressway rest areas in Japan”, The Proceedings of World Congress of Intelligent Transport System (Paper number ID 1229663), 共著：Yuki MISUI, Toshinori NEMOTO, Takao GOTO, Tomo KAGABU（査読付）.

その他著作

令和4年5月「自動運転時代のトラック業」『房日新聞』第2面.

令和4年8月「ネット通販のトリセツ」『房日新聞』第2面.

令和4年10月「シン・鉄道物流」『運輸と経済』Vol.82, No.10, p.120.

令和4年10月「脱炭素を目指す欧州の対距離課金」『交通政策研究2022』日本交通政策研究会，pp.24-25, 共著：早川祥史，味水佑毅，根本敏則.

令和4年11月「日本の交通における最近の動向」『交通政策研究2022』日本

交通政策研究会, pp.4-16, 共著:加藤一誠, 中村知誠, 根本敏則.

令和4年12月「巻頭インタビュー:SA・PAに物流事業者が共同利用できる公共ターミナルとしての機能整備を」『道路』Vol.981, pp.4-9.

令和5年1月「ロジスティクスへの提言:「労働生産性の向上」カギ」『物流ニッポン』4538号.

令和5年2月「物流構造改革による「担い手にやさしい物流」の実現」『商工ジャーナル』第39巻 第2号, pp.14-17.

学会発表等の活動

令和4年9月“Demand analysis of large-truck parking at expressway rest areas in Japan”, World Congress of Intelligent Transport System, Yuki MISUI, Toshinori NEMOTO, Takao GOTO, Tomo KAGABU.

令和4年9月「越境ネット通販の増大と通関制度の課題」第39回日本物流学会全国大会, 名古屋学院大学.

令和4年9月「高速道路におけるトラック隊列走行・自動運転に対応した物流拠点の整備に関する研究」第39回日本物流学会全国大会, 名古屋学院大学.

令和4年10月「東京・福岡間の宅配貨物輸送手段の労働生産性・CO2排出量等の比較」日本海運経済学会第56回研究報告会.

学会での役職

日本交通学会 理事

(公社)日本交通政策研究会 専務理事

日本海運経済学会 理事

日本計画行政学会 評議員

(財)運輸調査局「運輸と経済」編集委員

競争的資金等の獲得状況

技術革新を踏まえた道路課金の進展に関する研究

(研究代表者:根本敏則) 日本交通政策研究会 2022年度

高速道路の休憩施設における大型トラックの駐車問題の解決に向けた提案

(研究分担者：根本敏則) 科学研究費補助金 2020-2022年度

インフラ損傷者負担原則に基づく高速道路有料道路の提案

(研究代表者：根本敏則) 科学研究費補助金 2020-2022年度

ダブル連結トラックおよび貨物車隊列走行を考慮した道路インフラに関する技術研究開発

(研究分担者：根本敏則) 委託研究 東京海洋大学 2020-2022年度

馬場 正弘 教授 (経済政策, 産業政策, 日本経済論)

学術書の刊行

令和5年3月「イノベーションが変える経済と社会」塚原康博・安藤潤・佐川和彦・松崎慈恵 (編著)『これからの暮らしと経済』第10章, 文眞堂.

学会での役職

日本経済政策学会・関東部会理事

藤井 輝男 教授 (知覚心理学)

学術論文

令和4年2月「慣用句表現における色彩用語の役割」『医療創成大学研究紀要』第2号 (高島翠と共同).

森島 隆晴 教授 (教育経済学)

学会での役職

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所

臨床研究審査委員会委員

世界平和教授アカデミー (PWPA) 理事 機関紙「世界平和研究」編集委員
千葉人格教育協議会 会長

矢口 和宏 教授 (公共経済学, 経済政策)

学術書の刊行

令和4年11月「人口減少化のまちづくり政策—コンパクトシティの形成に向けて—」飯島大邦編著『人口と公共政策 中央大学経済研究所研究叢書79』中央大学出版部, pp.281-307.

*全16章のうちの第10章を担当

学術論文

令和5年3月「震災伝承方法の検討と課題」『敬愛大学総合地域研究』第13号, 敬愛大学総合地域研究所, pp.51-65 (共同執筆者: 矢口和宏, 根本敏則, 石井一郎, 加藤博敏, 藤森孝幸).

学会での役職

公共選択学会: 事務局担当理事

日本経済政策学会・本部幹事, 国際会議プログラム委員会委員, 「経済政策ジャーナル」編集委員会事務局長 (2022年5月まで)

彌島 康朗 教授 (キャリア教育)

学会発表等の活動

令和4年6月 口頭発表「実務経験をアクティブラーニングに、偶然を学習機会に ~観察と推察とフィードバック~」日本実務教育学会第2回大会・オンライン

令和4年9月 口頭発表「リフレクションで気づきを促すキャリア教育—ジェネリックスキル修得支援—」日本キャリアデザイン学会

第18回研究大会・オンライン

令和5年3月 口頭発表「リフレクション分析で汎用的能力を測る試み—社会課題解決（PBL）に取り組んだ高評価チームとそれ以外チームとの比較—」第29回大学教育研究フォーラム・オンライン

藪内 正樹 教授（中国経済, 日中関係）

その他著作

令和4年4月「ウクライナ戦争と世界の地殻変動」世界貿易投資研究所コラムIMPACT

令和4年8月「一つの中国とは何か：国共内戦と台湾と次の戦争」世界貿易投資研究所コラムIMPACT

令和4年9月「暗殺と世論分断：日本の評価を失墜させる二つの失敗」世界貿易投資研究所コラムIMPACT

令和4年12月「世界を荒廃させる拝金主義と権威主義：利権政治の寄せ集めに堕した日本は、両者の草刈り場」世界貿易投資研究所コラムIMPACT

令和5年3月「研究ノート：戦後レジームの崩壊と日本の進路—日本・中国の文明比較と“敬天愛人”から考える」敬愛大学紀要

学会での役職

日本日中関係学会：評議員

和田 良子 教授（実験ファイナンス）

学術論文

令和5年2月「高階のリスク選好に着目した、保険選択にみる利他性と公衆衛生の公共財供給における戦略の関係についての研究」令和3年度調査研究報告, かんば財団, p.1-12.

学会発表等の活動

- 令和4年11月 Altruism in Financial Decisions: The Role of Higher-order Risk Preferences Economic Science Association Northern American Meeting, Hilaton Santa Barbara
- 令和5年2月 Comparative risk and ambiguity aversion: An experimental approach, SEET 2023 Workshop “Southern Europe Experimental Team’s Meeting”

競争的資金等の獲得状況

- ゆうちょ財団「あいまいさ回避度およびあいまいな情報の処理能力が家計の株式保有にもたらす影響—経済実験およびフィールドデータとの整合性によるモデルの検証—」
- 日本経済研究センター研究奨励金 研究「An Experimental Test of Dilation property in Ambiguity」加藤寛之氏との共同研究
-

渡辺 智之 教授（財政学）

学術論文

- 令和4年4月 「いわゆるBEPS 2.0をどう捉えるか？」『JMC Journal』2022年4月号, pp.1-18.
- 令和4年11月 「「公平・中立・簡素」の理念」『税研』226号, pp.52-57.
- 令和5年1月 「「財政破綻」をどう捉えるか？—財政によるリスク対応の観点から—」社会保障制度の再構築に関する調査研究会（鹿島平和研究所）成果論文.

その他著作

- 令和4年12月 「金融所得課税の見直し論議と求められる税制のあり方」『税理』2023年1月号, pp.4-5.

学会発表等の活動

- 令和4年9月 「高齢者の資本形成と税制」につき、日本証券経済研究所主

催の証券税制研究会にて報告

令和4年10月 日本財政学会（於、東洋大学）にて、國枝繁樹教授（中央大学）
の論文へのコメンテーター

令和4年12月 「経済のデジタル化と国際課税」につき、立命館大学（京都）
主催の租税論研究会にて報告

令和5年2月 「Web3と国際課税」につき、日本機械輸出組合・国際税務研
究会にて報告

学会での役職

IFA（国際租税協会）日本支部理事

大久保 利宏 特任教授（スポーツによる地域活性化）

学会での役職

日本スポーツ産業学会・会員

日本地域活性化学会・会員

遠藤 貴美子 准教授（経済地理学，工業地理学）

学会での役職

地理空間学会・集会委員会委員

競争的資金等の獲得状況

科学研究費補助金 基盤研究(C)「SDGs実現に向けた主体間ネットワーク
の構築と地域経済社会の創造的発展」(2020-2023から延長)
分担者

金 珍淑 准教授（流通・マーケティング）

学会での役職

- 日本商業学会・会員
- 日本商品学会・会員
- 日本マーケティング学会・会員

競争的資金等の獲得状況

科学研究費補助金 基盤研究（A）平成29年度～令和4年度 連携研究者

佐竹 恒彦 准教授（地域事業創造論）

学術論文

- 令和4年6月「中小企業の第二創業における理念創成プロセス—浜野製作所における後継者のリーダーシップ開発事例から—」『研究論集』第101号, 敬愛大学経済学会, pp.23-69.
- 令和4年8月「事業承継後における中小企業再生の理念創成プロセス—中小企業3社における後継者のリーダーシップ開発事例から—」『日本政策金融公庫論集』第56号, pp.45-69.

学会での役職

- 経営行動研究学会・理事
- 日本マネジメント学会・会員
- 日本中小企業学会・会員

競争的資金等の獲得状況

令和4年度共同研究助成（総合地域研究所）分担

星野 智樹 准教授（世界経済論，アメリカ経済論）

学術論文

令和4年5月「金融論で読み解くS・ストレンジの国際政治経済学」『国際金融』第1356号，外国為替貿易研究会，pp.52-59.

令和4年6月「世界経済論で読み解く沖縄の通貨制度—第二次世界大戦後におけるB円通貨制およびドル通貨制を中心に」『研究論集』第101号，敬愛大学経済学会，pp.97-133.

学会での役職

日本国際経済学会・正会員

日本金融学会・正会員

アメリカ経済史学会・会員

村上 翔一 准教授（会計学）

学術論文

令和4年7月「ステーブルコインの会計処理に関する一考察」『産業経理』第82巻第2号，pp.125-138.

令和4年8月 第5章 実務対応報告第38号の理解と処理，日本簿記学会簿記理論研究部会『新会計基準等が想定する帳簿記録と会計情報の研究』中間報告書，pp.58-70.

その他著作

令和5年1月 Salon de Critique「暗号資産会計の現状と方向性」『企業会計』第75巻第1号，pp.132-133.

令和5年2月 Salon de Critique「Web3.0における技術と会計」『企業会計』第75巻第2号，pp.122-123.

学会発表等の活動

令和4年8月「新会計基準等が想定する帳簿記録と会計情報の研究（中間報告）」, 日本簿記学会, 大阪産業大学

八木 直人 准教授（マクロ経済学）

学術論文

令和4年12月「日本におけるマクロ経済変動の「ネットワーク仮説」の検証」『研究論集』第102号, 敬愛大学経済学会, pp.3-34.

競争的資金等の獲得状況

プロジェクト研究「アクティブ・ラーニング研究会」（研究代表・継続4年目）
